

# 2020年度 法科大学院

## 第4期入学試験問題

### 3時限

### 刑法

### (論文式)

## 試験時間 50分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [刑法]

Xは、(平成22年生まれで、本事案の当時)4歳になるVの実母であり、自宅でVを監護していた。Vは、先天性ミオパチー(筋力が弱り運動能力の発達が遅れる病気)により発育が遅れていた。ミオパチーに患していることを考慮してもVの痩せ方は異常であったが、XはVの痩せ方はミオパチーのためでさほど異常なものではないと思っていた。そのため、Xは、Vに十分な栄養を与えず、Vの衰弱が激しくなった平成26年3月以降も、XはVの健康状態がそれほど深刻なものとは思っていなかったため、適切な医療措置を受けさせることもしなかった。Vは、平成26年6月某日に低栄養に基づく衰弱により死亡した。

この事例において、Xには何罪が成立するか。解答者が支持する見解を、対立する理解も十分に踏まえつつ、論じなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)